

# 平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協  
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年  
5月7日  
発行

## 5月6日、北海道、東京、高知・愛媛から行進スタート！



5月6日、2019年原水爆禁止国民平和行進の東京→広島コース、四国→広島コース、北海道→東京コースが出発。8月の広島、長崎にむけて平和行進（全国11幹線コース）がスタートしました。

### 【北海道→東京コース】

日本最北端の礼文島で出発集会が行われ、稚内市内では日本海コース通し行進者の矢部常次さんをはじめ45人が歩きました。日本本土最東端の納沙布岬では根室コースの出発式がおこなわれ、太平洋コース通し行進者の丸宗一さんが東京に向けて出発しました。

## 【東京→広島コース】

江東区夢の島の第五福竜丸展示館前でおこなわれた出発集会と行進に 700 人が参加しました。出発集会では、トランペット二重奏のファンファーレの後、世界大会実行委員会運営委員会代表の高草木博さんが開会挨拶。

高草木さんは、「今朝もすごいニュースが飛び込んできました。アメリカの平和団体が世界からの参加者とともに、来年 5 月、ニューヨークで『原水爆禁止世界大会』を開こうとよびかけたのですね。目標は、日本の運動が 1955 年から掲げ続けた核戦争阻止、核兵器禁止・廃絶、そして被爆者の援護です。今年の平和行進、本当に大事な平和行進になりました。もう一つ、日本の政府は、核保有国と非保有国の間を橋渡しすると言っています。けれども、安倍さんの欠ける橋には、核兵器禁止と日本国憲法という二つの橋脚が無いですね。頭の上には「核の傘」という「傘」がかかっています。これでは怖くて渡れません。この日本から、核兵器全面禁止の声を世界に伝えること、そして何より、核兵器全面禁止の先頭に立つ国、憲法の平和主義を、誇りとする国に日本を変えること、それが、2019 年平和行進の目標です」とよびかけました。

第五福竜丸平和協会代表理事の山本義彦さん、日本山妙法寺僧侶の江上彰さん、日本被団協全国理事で一般社団法人東友会の家島昌志さんが連帯挨拶しました。

沖縄県民投票の会代表の元山仁士郎さんが連帯あいさつ、基地の存在を自分の問題として沖縄県民だけではなくみんなの問題として考えてほしいとよびかけました。

東京学生ツアーの新妻さくらさん、Ring link Zero の中山さん、東京高校生平和ゼミナールの高校生によるリレートークに続いて、国際青年リレー行進者の AG・サニヨさん（フィリピン、フォトグラファー、平和教育構築運動）が紹介され、サニヨさんは、長崎被爆者の谷口稜暉さんとの出会いが自らの人生を変えたと言いました。

最後に、東京→広島コース通し行進者の小林和江さん、和歌山→広島コースの山口逸郎さん、広島→長崎コースの藤本理津子さん、宮崎→長崎コースの竹田昭彦さん、沖縄→長崎コースの米山幸子さん、リレー行進の和歌山市民生協から山東永徒さんが決意表明をおこないました。

※夢の島出発集会と日比谷公会堂までの行進の様子は日本原水協のホームページで、動画をアップしています。

## 【四国→広島コース】

高知・愛媛県境で今年の平和行進四国コース（愛媛→香川、高知→徳島）が 2 コース同時にはじまりました。愛媛県愛南町と高知県宿毛市の県境に 41 人が集まり、合同で国民平和行進四国コースの出発式を行い、2 コースに分かれて行進をスタートしました。

出発式は、12:30 より開始、愛媛県実行委員会を代表して、片岡副実行委員長が開会あいさつ。続いて、高知の和田さんが、決意表明を行いました。愛媛からは、来島・新婦人愛媛県本部会長があいさつ、最後に地元を代表して、この 4 月に初当選した日本共産党の宿毛市議の今城さんがあいさつし、平和都市宣言をしている宿毛市が実効性のある平和行政を進めるように力を尽くす決意が語られました。

とくみの写真や記事を [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) までお送りください。